



Creation&Harmony

SK-Electronics CO., LTD.



2017年9月期 第3四半期決算概要

＜ご注意＞

本資料および口頭にて提供する将来の当社業績見通しは、直近で知り得る情報をもとに作成したものであります。

しかしながら、世界経済や当社を取り巻く事業環境は急速に変化いたします。
つきましては、今後当社の業績見通しが本資料と異なる可能性もございます
ので、ご了解願います。

株式会社 エスケーエレクトロニクス

2017年8月

Creation&Harmony

証券コード 6677

© SK-Electronics Co., Ltd. All Rights Reserved

FPD業界動向

■第10.5世代以上の液晶パネル工場建設進行

- ・BOE、CSOTが量産稼働に向けた計画進行

■中国初・第6世代有機ELパネルの点灯成功

- ・天馬微電子・BOEが第6世代有機ELパネルの点灯成功

■有機ELテレビへの関心が高まる

- ・国内での有機ELテレビ販売開始、新規参入を目指すセットメーカー出現

パネル市況

■大型パネル価格高止まり

- ・テレビサイズの大型化による需給逼迫が継続

■中小型パネル価格横ばい

- ・中国市場でのスマートフォン出荷台数鈍化
- ・有機ELへのシフト、パネルサイズ大型化

フォトマスク市場

■復調傾向

- ・高付加価値フォトマスク需要、新規生産ラインの立ち上がり需要

連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



SK-Electronics CO., LTD.

	2016年9月期	2017年9月期				第3四半期 累計比
	前第3四半期 累計期間	1Q	2Q	3Q	第3四半期 累計期間	
売 上 高	12,443	3,966	4,015	4,246	12,229	△214
営 業 利 益	1,485	525	381	284	1,192	△293
営 業 利 益 率	11.9%	13.3%	9.5%	6.7%	9.7%	△2.2%
経 常 利 益	1,908	392	366	306	1,064	△843
当 期 純 利 益 (親会社株主に帰属)	1,773	275	483	△174	585	△1,187

設 備 投 資	212	179	2,330	1,010	3,519	3,307
減 価 償 却 費	1,003	281	473	538	1,293	290
研 究 開 発 費	296	131	96	130	357	60
E B I T D A	2,489	807	855	823	2,485	△3

連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)

科 目	2016年 9月末	2017年 6月末	前期末比
(資産合計)	21,051	23,859	2,807
現金及び預金	4,184	5,485	1,301
受取手形及び売掛金	3,419	4,148	728
たな卸資産	1,573	1,669	96
その他（流動資産）	1,553	679	△874
有形固定資産	9,418	11,020	1,601
無形固定資産	425	322	△103
投資その他資産	477	533	56
(負債合計)	4,666	6,276	1,610
支払手形及び買掛金	2,399	2,640	240
長期借入金（1年以内返済含む）	200	1,425	1,225
未払法人税等	236	394	158
その他（負債）	1,830	1,816	△13
(純資産合計)	16,385	17,583	1,197
自己資本（株主資本、評価・換算差額等計）	14,837	15,763	926
自己資本比率（%）	70.5	66.1	△4.4
有利子負債残高	330	1,503	1,173

業界動向

投資動向

■大型パネル市場 **－成長－**

- ・ディスプレーサイズの大型化、4K化により継続して成長

■中小型パネル市場 **－成長－**

- ・スマートフォン向けパネルの高精細化・フレキシブル基板中心に有機ELへシフト、車載ディスプレイやVR・ARの台頭

■FPD面積需要 **－成長－**

- ・パネルサイズの大型化により継続して成長

■需給バランス **－タイトから緩和局面へ－**

- ・パネルサイズの大型化や有機ELへのシフトにより当面タイト
- ・セットメーカーの在庫水準上昇により供給過剰に転じる見通し

■設備投資意欲いまだ旺盛

- ・第10.5世代以上の液晶パネル工場建設前倒し
- ・有機ELパネル工場への大規模投資計画浮上
- ・新興国への液晶パネル工場の設備投資計画浮上
- ・パネル供給過剰につながる懸念

VR : Virtual Reality (仮想現実) 、 AR : Augmented Reality (拡張現実)

2017年9月期 連結業績予想 (単位:百万円)



SK-Electronics CO., LTD.

	2016年9月期 (実績)			2017年9月期		
	第3四半期 累計期間	4Q	通期	第3四半期 累計期間 (実績)	4Q (計画)	通期 (計画)
売 上 高	12,443	3,302	15,745	12,229	4,971	17,200
営 業 利 益	1,485	145	1,631	1,192	508	1,700
経 常 利 益	1,908	92	2,000	1,064	536	1,600
当 期 純 利 益 (親会社株主に帰属)	1,773	12	1,785	585	365	950
設 備 投 資	212	595	807	3,519	3,081	6,600
減 価 償 却 費	1,003	355	1,358	1,293	707	2,000
研 究 開 発 費	296	120	417	357	168	525
一株当たり配当金 (円)	-	-	18 (記念配3円含む)	-	-	15

＜ご参考＞当社グループの新規事業案件への取り組み

新規事業案件のまとめ	主な製品群等	販売戦略等
プリントエレクトロニクス分野	<ul style="list-style-type: none"> ・厚膜レジスト原盤 ・電鋳版 ・ガラスドライエッティング版 	<ul style="list-style-type: none"> ・量産化実現に向けた積極的な市場へのアプローチ ・最先端技術を用いた製品開発
RFID分野	<ul style="list-style-type: none"> ・極小RFID ・市場、顧客ニーズに合わせたシステム製品の販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・「小さい」という特徴を活かした、顧客ニーズへのソリューション提案 ・システム販売も含めた当社独自製品の開発（付加価値のあるRFID関連新製品の市場投入）
ヘルスケア分野	<ul style="list-style-type: none"> ・SEM Glove 自立支援用 ・電気刺激装置 WILMO 	<ul style="list-style-type: none"> ・学会、展示会に医療機器の展示による認知度向上 ・より使いやすい製品の実現にむけた改良及び実証実験の継続 ・WILMOの製造販売及び新製品の市場への投入
イメージングシステム分野	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマイクロスコープ ・自動計測コロニーカウンター 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品展開の拡充（他分野との連携による事業領域の拡大） ・食品業界、製薬業界のマーケティングに基づく製品開発および差別化
(株)清原光学	<ul style="list-style-type: none"> ・光学システム・光学部品・レーザ関連機器・精密機器の設計製作および販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・収益構造の悪化を解消するため、固定費削減を中心とした抜本的な構造改革を実施すると共に、売上構成のベースとなる光学部品等への販売力を強化し、事業の立て直しを図る。